

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル：「水都とくしま」における、新町川での取り組みについて	
水系／河川名：吉野川／新町川	河川分類：中小河川
河川の流域面積：109.5km <sup>2</sup>	整備計画流量：352m <sup>3</sup> /s(W=1/100) セグメント：3
事業：環境整備	事業開始年度 昭和36年度
目標設定：定性的	段階：D(実施・施工時)
課題・目的(主な)：水環境改善、水辺へのアクセス改善、その他	
工法(主な)：護岸整備、その他	
配慮事項(主な)：河川景観への配慮	

## 背景・課題、目標設定

## &lt;背景&gt;

新町川は徳島県の県都である徳島市の中心市街地を流れる河川で、昭和初期までは、川で人が泳げるほど水質が良かった。

しかし、高度経済成長期(昭和30年代)には、生活排水や工業廃水が直接新町川へ流れ込み水質が悪化し、魚が住めない河川となってしまった。

そこで、昭和50年代から新町川浄化ポンプの整備や川底泥を撤去し水質改善を行い、さらに、昭和61年からは、徳島県と、徳島市により川辺環境向上のための整備を始めた。(翌年「ふるさとと納税」に指定。平成21年には「かわまちづくり」に登録。)

現在は、魅力ある「水都とくしま」を創造するため、地元産の青石やLEDを活用した景観整備を進めるほか、地元住民らによる清掃活動や、水辺空間を利用したイベント等を行っている。

## 取り組み内容・対策例



## モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

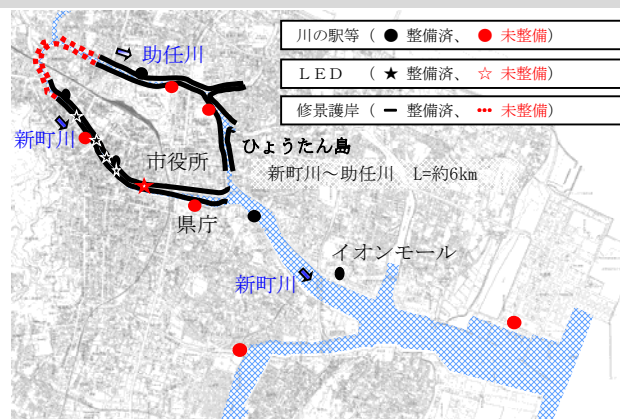
## &lt;近年状況&gt;

- ・イオン前に「川の駅」が寄贈され、運用開始
- ・修景護岸の改修再開
- ・クラウドファンディングによる寄付金100万超
- ・LED景観整備(富田橋)のデザイナー一般公募
- ・徳島大学学生による「川の駅」整備検討

## &lt;今後の対応方針&gt;

今後も、引き続き徳島市と連携し整備、維持管理行う。

- ・徳島県：修景護岸の未整備区間の改修、遊歩道の整備、青石護岸修繕
- ・徳島市：LED景観整備、川の駅整備、公園維持管理



## 備考

## &lt;水辺空間を利用した活動・イベント&gt;

- ・ひょうたん島クルーズ(乗客数5万人超(平成30年度))
- ・阿波踊り(毎年8月開催)
- ・徳島マルシェ(毎月最終日曜日開催)
- ・マチアソビ(年2回開催)
- ・LEDアートフェスティバルなど

問い合わせ先 徳島県 河川整備課  
電話番号 088-621-2573